

運輸行政全体で データの流れを作る必要性

データの流れからみたバス事業

許認可権限

形式的な要件は確認はするが
地域の状況を踏まえた判断はしない

ダイヤ改正・臨時便
路線やバス停の新設・廃止
新規参入・撤退

運輸局
(国)

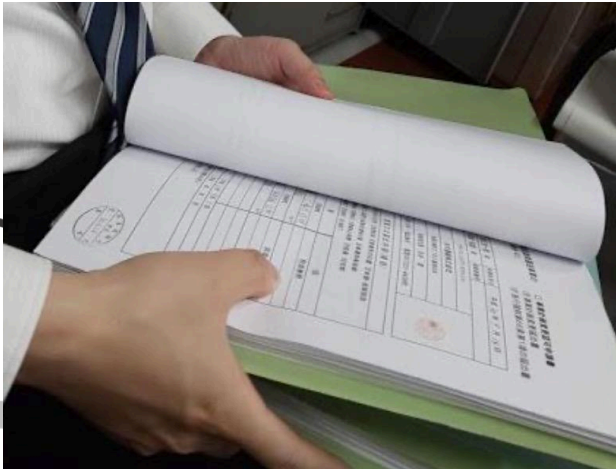
公共交通
事業者

アプリ
事業者

利用者

許認可・申請
紙ベース

GTFSによって
デジタル化が進む



利用者への情報提供はデジタル化されつつあるが、
国への申請・届け出はアナログのままではないか？

運輸局への紙による膨大な申請・届出業務



バス会社（永井運輸@前橋）

■申請回数：31回/年(H30)

- ・臨時便 29
- ・時刻変更 1
- ・営業所・車両 1

■紙量：約200ページ

■紙作業時間：業務時間の約3割

- ・申請関係が業務全体の約7割
- ・その4割程度が書類作成、5%が紙提出
- ・年間700時間程度が費やされている

■印刷数：6部～

- ・運輸局 旅客第一課、運輸支局 輸送課
- ・県警、所轄警察署
- ・道路管理者



関東運輸局

■申請数：4000前後/年

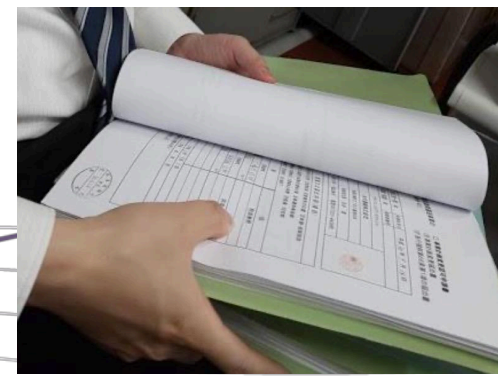
- ・事業計画変更：20-30/週
- ・運行計画変更：50-/週

■ピーク

- ・12月末（4月改正の3か月前）
- ・2月末（4月改正の1か月前, 協議会事項）
に通常の2倍弱

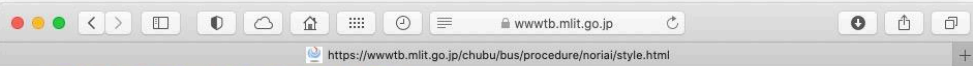
■消費税増税の申請数

- ・120-130社



太田恒平, 水野羊平, 三浦公貴, 伊藤昌毅, "GTFS-JPデータを用いた乗合バス事業の電子申請に向けた基礎検討 ～帳票地獄からの脱却による働き方改革を目指して～", 第59回土木計画学研究発表会, 2019年6月9日.

書式の例



一般乗合旅客自動車運送事業申請書様式例・記載例

ここでは、地域公共交通会議の合意に基づく運送を行う場合を想定した様式例を、運行の様態毎に紹介しています。

- ◎一般乗合旅客自動車運送事業（路線定期運行）
 - 路線及び運行ダイヤを定め、定時定路線の運行を行う形態です。
 - 経営許可申請書
 - ・様式例 [\(Excel\)](#) [\(PDF\)](#)
 - ・記載例（路線・停留所・運行計画関係） [\(PDF\)](#)
 - 事業計画変更（路線延長など）認可申請書
 - ・様式例 [\(Excel\)](#) [\(PDF\)](#)
 - ・記載例（路線・停留所・運行計画関係） [\(PDF\)](#)
 - 路線・停留所・運行システムに関する手引き [\(PDF\)](#)
- ◎一般乗合旅客自動車運送事業（路線不定期運行）
 - 路線を定め、決まったコースを運行しますが、運行ダイヤ等が不定期となる形態です。
 - 経営許可申請書
 - ・様式例 [\(Excel\)](#) [\(PDF\)](#)
 - 事業計画変更（営業区域拡大など）認可申請書
 - ・様式例 [\(Excel\)](#) [\(PDF\)](#)
- ◎区域運行
 - 路線の代わりに営業区域を設定し、区域内においてコースを定めずに運行する形態です。
 - 経営許可申請書
 - ・様式例 [\(Excel\)](#) [\(PDF\)](#)
 - 事業計画変更（営業区域拡大など）認可申請書
 - ・様式例 [\(Excel\)](#) [\(PDF\)](#)
- 運賃料金設定届出書
 - 申請に際して、設定しようとする路線・営業区域において適用しようとする運賃を設定する必要があります。

第2号様式（第2条関係）（日本工業規格A列4番）第1表

運輸支局
運輸監理部

事業者番号 乗合

路線定期運行・路線不定期運行 路線定期運行
の別（該当事項を○で囲むこと。） 路線不定期運行

一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書（24年度）

住所

25.8.22 25.8.22

事業者名

代表者名（役職名及び氏名）

電話番号

事業概況（25年3月31日現在）

事業用自動車数（両）	
従業員数	
路線（キロメートル）	
（キロメートル）	
（キロメートル）	
（キロメートル）	

第2号様式（第2条関係）（日本工業規格A列4番）第2表

運行系統別輸送実績報告書（24年度）

事業者名 バス株式会社 No.

番号	通 行 系 統				運行ダイヤ		年 間 輸 送 実 績 (前年4月1日から3月31日まで)																
	起 点	主 な 経 過 地	終 点	キロ程 (キロメートル)	利用する高速自動車国道等 (名称)	運 賃	始 発 時 刻	終 発 時 刻	所要 時間 (分)	運行 回数 (回)	定行キロ (キロメートル)	輸 送 人 員		輸 送 人 員	1人平均乗車キロ (乗車キロ数×1人)	輸 送 人 員	平均乗車密度 (乗車キロ数/1人)	輸 送 人 員	平均乗車密度 (乗車キロ数/1人)	輸 送 人 員	平均乗車密度 (乗車キロ数/1人)	備 考	
1																							
2																							
3																							
4																							
5																							
6																							
7																							
8																							
9																							
10																							
計																							

記載要領

- この報告書は、毎年3月31日現在において存する運行系統（同日現在において運行していないものを含む。）について記載すること。
- 番号は、第2条第4項に規定する運行系統の番号と同一のものとする。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経過地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載し、キロ程は小数点以下第1位まで記載すること。
- 利用する高速自動車国道等の名称、利用区間及び利用区間のキロ程は、運行系統のキロ程の2分の1以上の距離の区間において高速自動車国道等（高速自動車国道法（昭和32年法律第79号）第4条第1項に規定する高速自動車国道、道路法（昭和27年法律第180号）第48条の4第1項に規定する自動車専用道路又は道路運送法（昭和26年法律第183号）第2条第8項に規定する自動車専用道路）を利用する場合について、各高速自動車国道等ごとに記載すること。
- 運賃は、起点から終点までの大人普通旅客運賃とする。
- 運行ダイヤは、路線定期運行について記載すること。
- 運行回数は、1日における回数の1往復を1回として記載すること。
- 1人平均乗車キロは、運行系統ごとの実態調査に基づいて記載すること。ただし、実態調査を伴わない場合は、推計により記載すること。
- 輸送人キロ及び平均乗車密度は、次の算式により算出すること。
 - 輸送人キロ＝輸送人員×1人平均乗車キロ
 - 平均乗車密度＝輸送人キロ/定行キロ
- 備考欄には、次の事項について記載すること。
 - 当該年度途中で新規に開設した運行系統については、「年月日から運輸開始」
 - 当該年度において、1年以上の期間継続して運行しなかった運行系統については「年月日から年月日まで休止」
 - 運輸期間又は運輸回数を定めて運行した運行系統については⑤
 - 道路運送法第18条各号の協定が締結されている運行系統については⑥
 - 定期観光系統については⑦
 - 入庫又は出庫することを主たる目的として運行されている運行系統については⑧
 - 車を乗客させて事業用自動車の旅客の運送の用に供する運行系統については⑨

©禁複製 財団法人輸送文研社 03 (3861) 029

本年3月31日まで

	管 轄 区 域 内	全 国
両 数 (日車)		
両 数 (日車)		
ト ール		
コ (キロメートル)		
定 期 (人)		
賃 入 入 (千円)		

本年3月31日まで

	管 轄 区 域 内	全 国
件 数	0	0
件 数	0	0
数	0	0
数	0	0

行、路線不定期運行ごとに別業として作成すること。
 (認可)を受けたすべての路線における当該事業について記載すること。
 場合は主として当該事業に従事している人数及び共通部門に従事している従業員に、運転者数を記載すること。
 運輸監理部又は運輸支局の管轄区域ごとに、当該運輸監理部又は運輸支局の管轄に配置されている事業用自動車の輸送実績及び事故件数について記載すること。
 (認可)を受けたすべての路線における当該事業について記載すること。
 (昭和35年法律第105号)第72条第1項の交通事故をいう。
 報告規則 (昭和26年運輸省令第104号)第2条の事故をいう。

利用者向けのデジタル化を進めたところで…

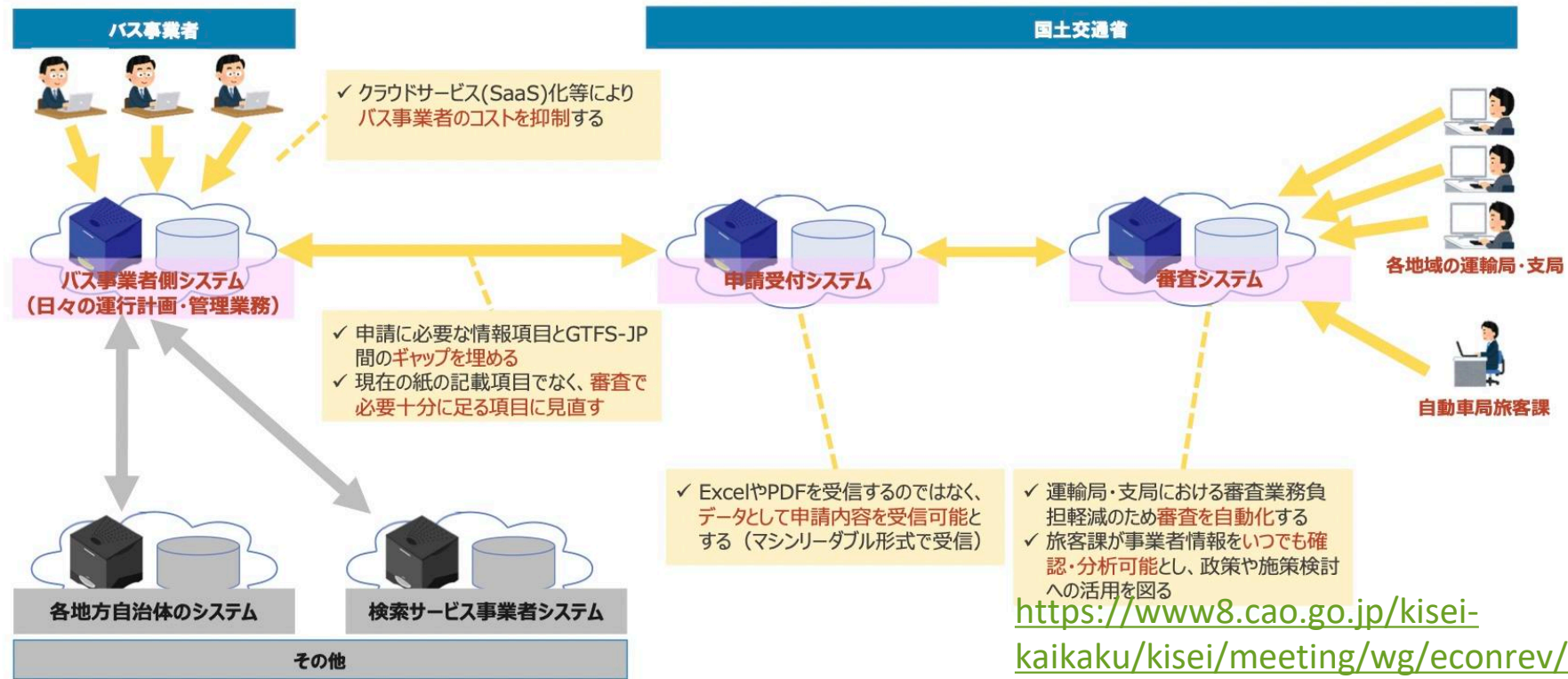
帳票地獄



規制改革推進会議経済活性化ワーキング・グループ

・ 経団連からの提案（2021年12月8日）

- 事業許可申請および変更認可申請手続きを電子化すること
- 申請内容をマシンリーダブル、かつGTFS-JP(共通フォーマット)を活用した形式とすること



MaaS推進も見据えたバス事業者の申請のオンライン化及びGTFS-JPの普及・促進

No.	事項名	規制改革の内容	実施時期	所管府省
9	MaaS推進も見据えたバス事業者の申請のオンライン化及びGTFS-JPの普及・促進	<p>a 国土交通省は、バス事業に係る許認可申請のオンライン化に向け、バス事業者（一般旅客自動車運送事業者）の申請作業及び受理に係る地方運輸局の業務の簡素化（BPR）を実現するための工程表を定めるとともに、バス事業者が国土交通省に対して書面で行っている許可申請と事業計画の変更申請について、GTFS-JP（General Transit Feed Specification Japan：標準的なバス情報フォーマット）の活用可能性を検討する。</p> <p>b 国土交通省は、MaaS（Mobility as a Service）推進も見据え、GTFS-JPの果たす役割が大きいことに鑑み、その普及が進んでいる地域における取組などから得られる知見について、引き続き地方公共団体やバス事業者に広く周知する。</p>	<p>a：工程表は措置済み、GTFS-JPの活用可能性に関しては令和4年度検討・結論</p> <p>b：令和4年度措置</p>	国土交通省

新規

予算額: 100百万円

額: 11百万円

(うち令和4年度二次補正予算額: 100百万円)

概要

- 政府全体の申請手続等のオンライン化の動向に合わせて、自動車運送事業分野において喫緊の課題となっているデジタルトランスフォーメーション(DX)・デジタルガバメントに取り組み、運送事業者における生産性の向上・経営効率化を推進する。
- オンラインでの具体的な申請形式・方法等について、地方運輸局や日本バス協会等の関係者と協議し、仕様を早急に検討する。

を推進する
を進める。



作業が必要
に存在する
書類の中
にない

BPRの実施

- 申請書類・添付書類の見直し
- 審査方法見直し
- 附帯業務の業務効率化 等

審査業務
でミスを防
ぐために情報を

令和7年までに実施される国土交通省に係る行政手続のオンライン化に向け、具体的な申請形式・方法等を検討する。その際には、地方運輸局や日本バス協会等の関係者と協議を行う。

※BPR: Business Process Reengineering (ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)

既存の業務プロセスを詳細に分析して課題を把握し、ゼロベースで全体的な解決策を導き出すことにより、国民・事業者及び職員の双方の負担を軽減するとともに、業務処理の迅速化・正確性の向上を通じた利便性の向上を図る

19

実施内容

R4年度
● 添付書類や審査方法等の最適化・効率化のための調査

R5年度
● 電子申請システムの申請画面作成・テスト

R6年度以降
● システムの更改
● システム間の連携テスト
● 電子申請の運用開始

日本バス情報協会(2022年3月に活動開始)

- 行政、バス事業者等に対するコンサルティング
- 講習会、勉強会等の開催
- データコミュニティに対する技術支援
- データプラットフォーム、ツール等の提供
- バス運行システム事業者等の連携の推進
- 調査研究



GTFS・バスデータ整備実習(2022年8月)

一般社団法人日本バス情報協会

データの流通を促し、
バス事業の未来に貢献したい

READ MORE

GTFS・バスデータ整備実習を開催しました。ご参加ありがとうございました。

市町村・
小規模バス事業者向け 一般社団法人日本バス情報協会主催

GTFS・バスデータ整備実習 東京開催

日時 令和4年 8月31日(水) 10:00~17:00

場所 ちよだプラットフォームスクウェア
4階401会議室

費用 30,000円
(第1部のみ 15,000円)

対象 市町村の公共交通、コミュニティバス担当者
10路線程度の小規模バス事業者のダイヤ担当者

内容: PCを持参していただき、無償のGTFSデータ作成ツール(見える化共通入力フォーマット)を使用してデータ作成を学びます。

対象: 市町村の公共交通、コミュニティバス担当者。10路線程度の小規模バス事業者のダイヤ担当者(申し込み先着30名)

最近の投稿

日経産業新聞に日本バス情報協会の紹介記事が掲載されました
2022年4月25日

「ジオ展2022」で日本バス情報協会の設立が2021-2022ジオ界隈10大ニュースに選定されました
2022年4月25日

ホームページを公開しました
2022年2月11日

公共交通オープンデータ最前線2022開催のお知らせ
2022年2月6日

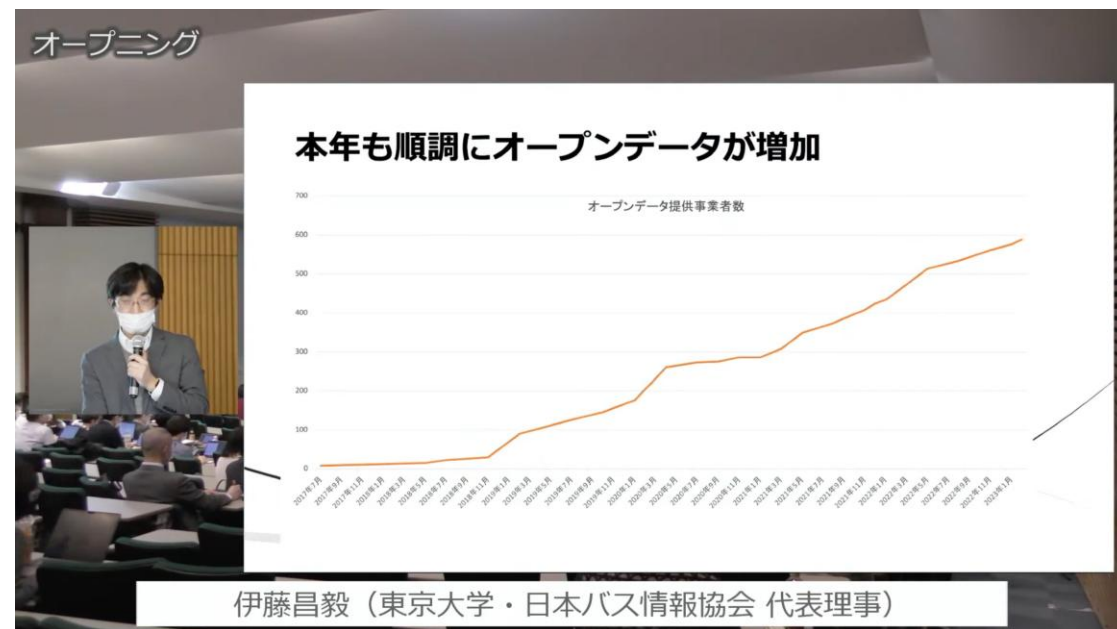
関連リンク

- GTFSとは (gtfs.jp)

<https://www.busdata.or.jp>

日本バス情報協会のこれまでの主な活動

- 2022年
 - 3月5日 設立イベント
 - 5月26日 社員総会（幹事の改選）
 - 5月31日 CP実務の会
 - 8月31日 GTFS・バスデータ整備実習
 - 11月30日 定例会（以後3ヶ月おきを目安に）
- 2023年
 - 1月11日 GTFS再入門 西沢ツール編
 - 3月4日 公共交通オープンデータ2023
- その他
 - 日経産業新聞掲載（2022年4月25日）
 - 国土交通データプラットフォーム 開発協力
 - 各種GTFS関連ツール開発



公共交通オープンデータ最前線2023の様子

GTFS・データリポジトリ研修資料を公開中

📅 2023年7月6日 / 最終更新日時: 2023年7月23日

イベント

GTFS初任者講習会を開催しました（動画公開中）

7月6日 10時～12時にオンラインでGTFS初任者講習会を開催しました。この講習会では、新たに公共交通やGTFSデータの担当になった方を念頭に、GTFSの基礎や利活用・整備の事例、GTFSデータ作成ツールやチェックツールの紹介、データをオープンデータ公開できるGTFSデータリポジトリの紹介をしました。また、後半では、事前に参加者から寄せられた質問にお答えしました。説明資料は下記からダウンロードできます。また、録画をYoutubeにより動画配信しています。

【第1部 講演（説明資料と動画）】

- GTFSの利活用と公開 ～その意義と可能性～ （東京大学 伊藤昌毅）【動画】
- GTFSデータ整備 全国の事例や実状 （合同会社MoDip 諸星賢治）【動画】
- GTFSデータ作成ツール・GTFSデータチェックツールご紹介 （地域・交通データ研究所 西澤明）【動画】
- データ作成ツール紹介 （公共交通利用促進ネットワーク 伊藤浩之）【動画】
- GTFSデータリポジトリご紹介 （地域・交通データ研究所 西澤明）【動画】
- GTFSデータ整備：次のステップのご紹介 （東京大学 伊藤昌毅）【動画】
- （参考資料）GTFSデータ関連ツール、マニュアル等リンク集

【第2部 質問への回答（動画）】

- いただいた質問リスト【回答動画】

<https://www.busdata.or.jp/?p=661>

📅 2023年9月7日 / 最終更新日時: 2023年9月7日

未分類

第1回GTFSデータリポジトリ ユーザー会・初任者説明会を開催しました

（一社）社会基盤情報流通推進協議会（AIGID）と（一社）日本バス情報協会では、9月7日（木）10:00～11:30にオンラインで第1回GTFSデータリポジトリ ユーザー会・初任者説明会を開催しました。GTFSデータリポジトリは今春に本格運用を開始しましたが、既にリポジトリを利用されている方や新たにリポジトリへのデータ登録を検討されている方を対象に、リポジトリの概要や利用方法、新たな機能等を紹介しました。約150名の参加申込がありました。本会での説明資料を公開します。また、録画を後日Youtubeで公開する予定です。

【説明資料】

- 議事次第、リポジトリの経緯と位置づけ、今年度の計画
- リポジトリの概要
- データ登録・公開方法
- APIの紹介
- QGIS・GTFS-GO実習

<https://www.busdata.or.jp/?p=719>

GTFSは地域交通の基礎になる

重要な地域資源

**公共交通の利用者・事業者・自治体
がデータ活用出来るように！**